

参加申込要綱

Fax送信先:03-3459-1704/事務局 宛

「第12期ビジネスイノベーション研究会」参加申込書

研究会へ参加をご希望の方は下記申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてIT協会までご送信ください。

ホームページからもお申込みいただけます。

<http://www.jiit.or.jp/>

参加費 (1名様・税込み)	区分	参加費
	正会員 準会員	231,000円
	一般	275,000円

※ 参加費には消費税の10%を加算しております。

※ 2名以上申込み参加の場合は、追加1名につき会員176,000円(税込)、一般209,000円(税込)となります。

第12期 ビジネスイノベーション研究会 参加申込書

開催期日:2023年11月~2024年3月 (全5回)

会員区分	<input type="checkbox"/> 正会員 <input type="checkbox"/> 準会員(カスタマーサポート部門) <input type="checkbox"/> 一般	参加者人数	名
		参加費合計	円
ふりがな			
会社名			
住所	〒		
所属/役職			
申込責任者	E-Mail		
電話番号	FAX		
ご要望記入欄	Pjt: IM315		

※請求書は申込責任者様宛てにPDFをメールにて送付致します。それ以外をご希望の方はご要望記入欄にご記入下さい。

ご参加者①	E-Mail	
所属/役職		
ご参加者②	E-Mail	
所属/役職		

お問い合わせ・お申込先	個人情報の取扱いについて	事務局使用欄
公益社団法人企業情報化協会 TEL.03-3434-6677 FAX.03-3459-1704 〒105-0011 東京都港区芝公園3-1-22 日本能率協会ビル 3F Homepage: http://www.jiit.or.jp E-Mail: entry@jiit.or.jp	公益社団法人企業情報化協会(IT協会)は、個人情報の保護に努めております。詳細は小会のプライバシーポリシーをご覧ください。今回、ご記入いただきました皆様の個人情報は、本催し(カンファレンス・セミナー・研究会)に関する確認・連絡および各種諸手続きのため機密保護契約を締結した業務委託先(事務局協力会社および郵便物発送業者)に預託することがありますのであらかじめご承知おきください。	

第12期

ビジネスイノベーション研究会

~デジタル時代のビッグデータ利活用によるビジネス革新~

研究テーマ

- データの利活用
- 人材育成
- データのオープンクローズ
- 他業界とのコラボ活性化
- オープンデータとシビックテック
- 生成AI
- 資産のデジタル化

参加対象

- ・ 情報システム部門責任者
- ・ 情報システム機能子会社責任者
- ・ ITベンダー企業のご担当者・責任者

会期

2023年11月~2024年3月 (全5回)

開催形式

第1・5回 ハイブリッド開催/第2・4回 オンライン開催
第3回 現地視察

<現地視察>

福島県会津若松市
『スマートシティ』
『再生可能エネルギー』



第12期
ビジネスイノベーション
コンソーシアム
企画委員会委員長



味の素株式会社
執行役専務
香田 隆之氏

コーディネーター

DACコンサルティング
代表・コンサルタント
データサイエンティスト
ファイナンシャルプランナー
入江 宏志氏



開催にあたって

デジタル化に伴い企業内外に蓄積されている多種多様で膨大なデータ（ビッグデータ）を分析し、企業の経営やビジネスの意思決定に活用することが、あらゆる企業にとって急務となっております。

AppleやMicrosoft、Amazonなどの世界的な企業が膨大なデータを保有・活用していることから、企業が活用するデータの価値の高さがうかがえます。ディープラーニング、AI、IoTなどの活用より、経営者は絶えず変化を続けるビジネスの局面で迅速かつ確かな意思決定を下すことが求められています。

これらデジタルを駆使し、経営判断をサポートする武器としてビッグデータを活用することは、マーケティング戦略での重点施策決定や、様々なリスク回避など、企業の競争力強化の大きな源泉となっています。特にデータにひそむ知見を引き出し活用するためには、データを分析・予測・最適化するビジネス・アナリティクスの仕組み・予測モデルとシミュレーション等これに取り組む組織の形成や人材の育成が必須となっております。

その一方でセキュリティやコンプライアンスといった観点からの課題を危惧する声も聞かれます。小会では、“ビッグデータ”に着目し、その活用による有効性について、有識者による解説や先導事例を中心に紹介し、研究と情報収集を行う場の提供を目的として海外調査団の派遣およびシンポジウム、研究会を開催いたします。また、最新のデジタル技術についても共有することで、ビジネスにイノベーションを起こすきっかけにしたいと考えております。

第12期ビジネスイノベーションコンソーシアム企画委員一覧

研究会の具体的な研究項目・内容については、小会より委嘱されたビジネスイノベーションコンソーシアム企画委員会において検討頂き、取りまとめて頂きました。

○委員長			
香田 隆之	味の素株式会社	執行役専務	
○委員			
土田 正道	株式会社IHIエスキューブ	エンジニアリングソリューション事業部 共通システムグループ	グループ長
石渡 貴	株式会社アトラスシー	常務取締役 経営統括本部	副本部長
水原 祥光	イソワ商事株式会社	営業本部 システム部	執行役員
神戸 秀樹	株式会社インテージテクノスフィア	エンタープライズ第二本部 営業企画推進室	シニアマネジャー
嶋田 基史	S C S K株式会社	事業革新推進グループ 技術戦略本部	副本部長 技術戦略部長
水田 裕司	NRIシステムテクノ株式会社	取締役（事業推進担当）	
山崎 恭弘	NTTコミュニケーションズ株式会社	BS本部 事業推進部 事業推進部門	担当課長
木村 博之	NTTコムウェア株式会社	エンタープライズソリューション事業本部	データマネージメントソリューション部 開発部門長
谷中 一勝	株式会社NTTデータ	デザイン&テクノロジーコンサルティング事業本部	事業本部長
坂本 信寛	MS&ADシステムズ株式会社	コーポレート本部 ディレクター	DX推進室長 兼 デジタルシステム本部 ディレクター
池田 秀明	株式会社オカムラ	DX戦略部	部長
上田 晃穂	関西電力株式会社	IT戦略室 IT企画部長	
坂入 啓一	株式会社関電システムズ	ソリューション本部 テクニカルラボ	部長
北口 拓実	株式会社Grand Central	代表取締役 CEO	
鈴木 貴博	株式会社シーエーシー	取締役兼業務担当執行役員	
杉本 知仁	株式会社JR西日本ITソリューションズ	経営企画部 部長	
後藤 満之	JFEエンジニアリング株式会社	DX本部 DX推進センター	デジタルソリューション部 部長
柿木 秀基	株式会社システムフロンティア	ビジネステクノロジーソリューション本部	AIソリューション推進室 執行役員
府川 利幸	大和ハウス工業株式会社	東京本社情報システム部	部長
入江 宏志	DACコンサルティング	代表・コンサルタント	データサイエンティスト FP
八城 光則	鉄道情報システム株式会社	第一営業企画部 営業企画課	課長
鈴木 淳一	株式会社電通グループ	電通イノベーションイニシアティブ	プロデューサー
佐藤 信二	東京海上日動システムズ株式会社	営業戦略推進本部 営業ソリューションサービス部	担当部長
秋元 一博	東京ガス株式会社	事業開発部 デジタル技術開発グループ	マネージャー
若目田 光生	株式会社日本総合研究所	創発戦略センター	シニアスペシャリスト
小柳 和也	日本電気株式会社	デジタルトラスト推進統括部	プロフェッショナル
上原 穂高	株式会社日本能率協会総合研究所	社会イノベーション研究事業本部	交通研究部 部長
吉岡 祐	日本ヒューレットパッカード合同会社	ポイントネクスト事業部	担当部長
鶴切 恵美	パナソニックコネクテッド株式会社	現場ソリューションカンパニー	パブリックサービス本部 営業総括部 ソリューションマーケティング部 シニアマネージャー
浅見 真人	株式会社日立製作所	Lumada Strategy Lumada Innovation Hub Tokyo	Chief DX Producer
野田 純也	みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社	先端技術研究部	部長
柴田 裕介	ヤマトホールディングス株式会社	デジタル戦略推進機能	ミドルエキスパート
西田 武司	株式会社Regrit Partners	Managing Director	
杉浦 享	理研ビタミン株式会社	草加工場 生産技術課	課長
佐々木 宏	立教大学	経営学部 教授	(敬称略・会社・団体名50音順)

各回の基本スケジュール

時間	内容
14:00~14:10	事務局長挨拶・コーディネーターによる課題提起
14:10~15:00	ゲストスピーカーによる講演 (1)
15:00~15:10	休憩
15:10~16:00	ゲストスピーカーによる講演 (2)
16:00~16:55	ディスカッション・情報交換・発表・質疑応答
16:55~17:00	コーディネーターによるまとめ

※第1回・第5回研究会終了後に参加者交流会（懇親会）を開催致します。（社会情勢により中止の可能性もございます）

※基本スケジュールは開催回によって変更される場合があります。

※各会合の詳細につきましては、開催10日~1週間前までを目処に、ご参加者様へメールにてご案内いたします。

各回プログラム・内容

プログラム内容は変更となる場合がございます。プログラムテーマは一部仮題を含みます。

第1回 11月29日(水) データの利活用

『東芝のAI・ビッグデータ活用 ~インフラ・製造分野の事例紹介~』

インフラ・製造分野では、プラントや工場の設備から大量のデータが収集され、活用されている。近年では、これらのビッグデータにAI技術を適用することで、運転の効率化や生産性の向上を実現する取り組みが進んでいる。ここでは、50年以上にわたるAI技術の開発と、インフラ・製造分野の知見に裏打ちされた東芝独自のAI技術と、プラントや工場におけるAI技術の適用事例を紹介する。

株式会社東芝
東芝研究開発センター
中田 康太氏

『船舶運航におけるデータ活用』

外航海運において競争力を向上させるためには、安全運航の実現、最適運航の達成、そして最近では地球温暖化対策としてのGHG（温室効果ガス）排出削減などの課題があります。本講演では、これらの課題に対処するための取り組みとして、船舶で取得可能なIoT技術を活用したデータ収集や、データドリブンな意思決定を行う手法を、具体的な事例を通じて紹介します。

株式会社 MTI
船舶物流技術グループ ESG活動支援チーム チーム長
前田 佳彦氏

第2回 12月18日(月) 人材育成 / データのオープンクローズ

『DX/AI人材育成の為のトレンドと戦略』

企業の持続的イノベーションの実現とデジタル技術の関係は相即不離であることは周知の事実であり、大半の企業は「DX」の必要性に駆られ育成に取り組んでいる。こうしたDXを推進するための組織を構築する手段として、既存のリソースをデジタル人材へと育成する「リスクリング」が注目されている。本講演では、こうした背景や弊社の顧客状況を踏まえ、DXを進める際に直面する苦悩と、それに対するアプローチ案を紹介する。

株式会社アイデミー
代表取締役 執行役員 社長
石川 聡彦氏

『データのオープン&クローズ戦略、=未開の市場を制するのは誰か=』

産業データの経済が広がる2020年代から、リアルな経済活動がデジタルデータで表現され（Digital Twin）、価値形成の主たる場が仮想空間へシフトする。この時データのオープン領域とクローズ領域をどう決めればいいのか、クローズ領域をどう保護するのか、オープン化から生まれる経済的な価値を引き寄せるビジネスモデルはどんな姿になるか。本講演ではこのような視点でお話し、データのオープン&クローズ戦略を皆さんと一緒に考えたい。

東京大学
国際オープンイノベーション機構 エグゼクティブアドバイザー
小川 紘一氏

第3回 2024年2月9日(金) 現地視察（福島県会津若松市）※現地集合、現地解散となります。

『再生可能エネルギー』

マツモトプレジジョン株式会社は、空気圧制御部品、自動車部品などの精密加工部品の製造販売を行う創業75年の会社です。2022年 ザ・サステナブルファクトリーと称し、ファクトリーブランディングを開始しました。DXを機軸にGXへの取組みをご案内いたします。
①創エネ：カーポートに太陽光パネルを設置。100%自家消費型では東北最大級。
②電 化：EVによる地域貢献と社員マイカーEV化への先進的取組み
③再エネ・省エネ：PV・EV・V2B・工場空調機の協調制御によるエネルギーマネジメント

マツモトプレジジョン株式会社

『スマートシティAiCT』

AiCTコンソーシアムは、スマートシティに取り組む企業で構成される非営利の地域マネジメント法人です。AiCTコンソーシアムには、2023年10月現在、90社を超える企業が所属し、連携しながら地域の魅力向上や課題解決に取り組んでいます。AiCTコンソーシアムにこれだけ多くの企業が集まった経緯や、共有している哲学、そして多様な企業が集まるからこそ生まれる化学反応やぶつかる壁など、会津からしか発信できない価値をお伝えします。当日は市役所職員とAiCTコンソーシアム会員企業から取組について説明を行います。またAiCTオフィスビルや関係企業の施設見学を行います。

一般社団法人AiCTコンソーシアム

第4回 2月21日(水) 他業界とのコラボ活性化 / オープンデータとシビックテック

『インサイト産業に携わるリサーチャーとのコラボ活性化に向けて』

今やDXの推進が重要なことに議論の余地はありませんが、最終的にビジネスの成果に結びつけるためには、加工・分析・生成されたデータをどう活用していくかが大切です。ゲームチェンジを引き起こすには、従来とは異なる洞察力が必要となっています。マーケティング・リサーチ（市場調査）業界は自身を「インサイト産業」と再定義し、関連する業界の皆さまとのコラボレーション強化に注力しています。

一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会
事務局 コンサルタント
一ノ瀬 裕幸氏

『官民協働のためのオープンデータ活用とシビックテック』

オープンデータは、政府活動の透明性を高め、市民参加を促進する道具です。一方で、シビックテックは公共問題解決にITを活用する手法です。この二つが合わさることで、市民自らがデータを用いて社会問題に取り組む動きが加速します。日本の事例を交えながら、データの有効活用とその課題、そしてこれからの方向性について論じます。

一般社団法人コード・フォー・ジャパン
代表理事
関 治之氏

第5回 3月22日(金) 生成AI / 資産のデジタル化

『生成AI: 創造的な業務効率化の未来』

生成AIで令和時代の働き方が変わります。AIの生成モデルは、文書の自動生成やクリエイティブコンテンツの生成だけでなく、様々な分野で驚くほどの成果を上げています。この講演では、翌日から実践できる生成AIの力を活用した業務効率化の方法を提案します。AIの進歩がもたらす機会を探求し、ビジネスプロセスを最適化しましょう。生成AIの未来を共に考え、ビジネスイノベーションの一步を踏み出しましょう。

株式会社ピースポーク
代表取締役社長
綱川 明美氏

『コントラクトDLT アカウントとNFT技術が導く新たな外部経済市場』

近年のDLT（分散型台帳技術）の機能進化により、高度なセキュリティ耐性と自律的なトークン運用の両立が可能となったことで、従来金銭的な価値評価が及ばず市場化困難とされてきた領域にも価値交換の経済スキームが適用されはじめた。新たな外部経済の可能性について時代背景を交え解説する。

株式会社電通グループ
電通イノベーションイニシアティブ プロデューサー
鈴木 淳一氏